ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

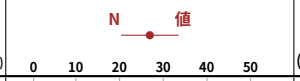
シートNO.

ボーリング名	NO.B-1	調査位置						北　緯	36 ° 52 ' 09.7400 "
発注機関	栃木県大田原土木事務所　整備部			調査期間	2010-08-24 ～ 2010-08-26			東　経	139 ° 59 ' 49.8400 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	225.09 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機 / ハンマー落下用具
総掘進長	10.45 m								エンジン / ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	224.79	0.30	0.30		埋土 (FI)	暗褐灰			礫径2から40mm砕石。締まる		
1	223.54	1.25	1.55		埋土 (FI)	暗褐		中位	細砂混りシルト主体。礫径10から50mm混入。含水比は下位から中位 土質やや乱れる。		
2	222.84	0.70	2.25		有機質シルト (MO)	黒褐		軟らか	粘着弱く、含水比は下位。旧表土腐食物と細砂分混じる。		08/24 2.51
3 4	220.19	2.65	4.90		砂礫 (GS)	暗褐灰	中ぐらい		礫径2から60mmの円、亜円礫主体間隙に薄く粘土分を含む粗粒砂充填。 2.50mより含水高位、全体にやや緩い礫となる。 コア長5から10cm玉石点在		
5 6 7 8 9 10	214.64	5.55	10.45		粘土混り砂礫 (GS-C)	茶褐灰	密な		礫径10から50mm主体。 間隙に粘土分を含む粗粒砂充填。 礫種は角礫・亜角礫主体。火山岩及び砂岩系礫が多い。 コア長5cm程度の玉石点在。 部分的に粘土多く、粘土質砂礫状となる。 含水比は下位から中位。 深度8.90mより固結状となり締まる。		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2／12	1／9	4	7／31	7
2.15	1／11	8	9	18／31	17
3.15	7	10	13	30／30	30
4.15	8	9	11	28／30	28
5.15	11	12	13	36／30	36
6.15	12	15	18	45／30	45
7.15	14	18	18／5	50／25	>50
8.15	10	13	19	42／30	42
9.15	14	12	13	39／30	39
10.15	12	13	22	47／30	47



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
		1.15	1	⊖		
		2.15	2	⊖		
		3.15	3	⊖		
		4.15	4	⊖		
		5.15	5	⊖		08/24
		6.15	6	⊖		
		7.15	7	⊖		
		8.15	8	⊖		
		9.15	9	⊖		
		10.15	10	⊖		08/25